

と氣

氣を合わせた 活性力で復興を

南阿蘇村議会議長

あらまき しゅんいち
荒牧 俊一



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
戌年の初めにあたり、皆さまのご多幸をお祈り申し上げますとともに、昨年中に賜りました、温かい復旧・復興支援、また、村政・村議会に対するご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、本村は、一昨年の4月に発生した熊本地震によって未曾有の被害を受け、多くの村民が避難を余儀なくされ、まだ不自由な生活を強いられている中で二度目の新年を迎えることとなりました。

我が故郷、南阿蘇村を取り巻く環境はまだ、大変厳しいものがあり、さまざまな困難が待ち受けています。しかし、私たちは、この困難な状況を総合力で打破し、一日でも早く、一人でも多くの村民が、故郷で震災前と同じように安心して生活できるよう復旧に全力で取り組んでまいりました。

本年も我々議員一同、村民の先頭に立ち、執行部と一丸となり、早期復旧・創造的復興に向けて、併せて教育・福祉・産業面からも全村的に地域の活力を生み出すことができるよう努力してまいります。

ここで、福島県南相馬市からの本村への温かいご支援を紹介させていただきます。野馬追で有名な南相馬市は人口6万2千人、しか

し、東日本大震災で1137人の犠牲者を出し、原発事故で今も避難・除染など厳しい問題を抱えられています。そのような状況下、一昨年の発災後、直ぐに救援支援物資をいただき、被災園児・児童・生徒への励まし、教育支援、執行部・議会へのアドバイスなど継続的に支援をいただいています。昨年11月には、多彩で心のこもった南阿蘇村復興イベントを全市あげて開催していただき、元気をいただきました。



村復興支援イベントでくまモンと一緒に踊る南相馬市の子どもたち

今年の戌年を調べましたところ「戌戌比和」で、運氣や兆候としては「同じ氣が重なる」と、その氣が盛んになる」との意味でした。

今年こそ、前述の全国から多くの温かいご支援に元氣をもらい、やる氣・勇氣をもって復活と再生に向け、まさに全村民の気持ちを一緒に再興を図る南阿蘇村の年だと言えます。結びに、これから益々寒さに向かう折、くれぐれも健康にご留意され、ご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。